



シカ捕獲対策について

近畿中国森林管理局 保全課



近畿中国森林管理局 基礎データ

所在地 大阪市北区天満橋1丁目8番75号

区域面積 7,342,428ha

うち森林面積 5,092,786ha

国有林野面積 310,995ha

関係府県 14府県(石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

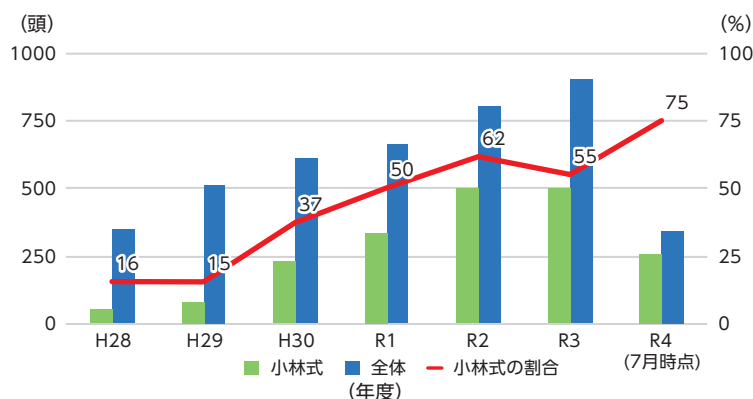


図1 管内のシカ捕獲状況

◆はじめに

近年、森林・農地において全国的にシカの個体数増加や生息域の拡大が深刻な問題となっています。令和2年度には、全国の森林面積のうち約2割でシカによる枝葉、樹皮の食害や角とぎによる剥皮被害が確認されています。これらの被害を拡大させないため、防護柵等による防除に加え、シカの個体数を減少させる必要があります。

近畿中国森林管理局では、職員や

◆小林式について

従来のくくり罠は「けもの道」などのシカの通り道を見極めて設置していたため、捕獲成功には熟練を要しました。小林式は、シカが餌を食べる際に□元近くに前足を置く習性を利用し、くくり罠と、餌による誘引捕獲を組み合わせた方法で、当局の職員が開発したものです（写真1）。小林式では餌による誘引を行うため、車道近くなどに設置することができると、特別な技術が不要で初心者でも高い捕獲効率を期待することができます。このため、見回り労力の軽減（写真2）や、捕獲したシカの運搬等が容易となるなど捕獲作業の効率化にも寄与します。

さらに、「けもの道」を避けて設置する、餌に草食動物用のものを使うことで、ツキノワグマなどを錯誤

捕獲するリスクの軽減にもつながります。



写真2 捕獲状況(治山事業地)



写真1 シカが餌を食べる様子



写真4 設置完了の状況



写真3 罠の周囲に石を密着させ並べる

◆小林式の設置方法

設置方法は従来のもと同様に、先ず地面に穴を掘り、くくり罠本体を設置します。次にシカは餌を食べ

るときに前足を横に置くことから、罠の中に足をつくよう罠の周囲に石を並べます（写真3）。これにより、くくり罠が作動したにも関わらず捕獲できない「空はじき」も防止

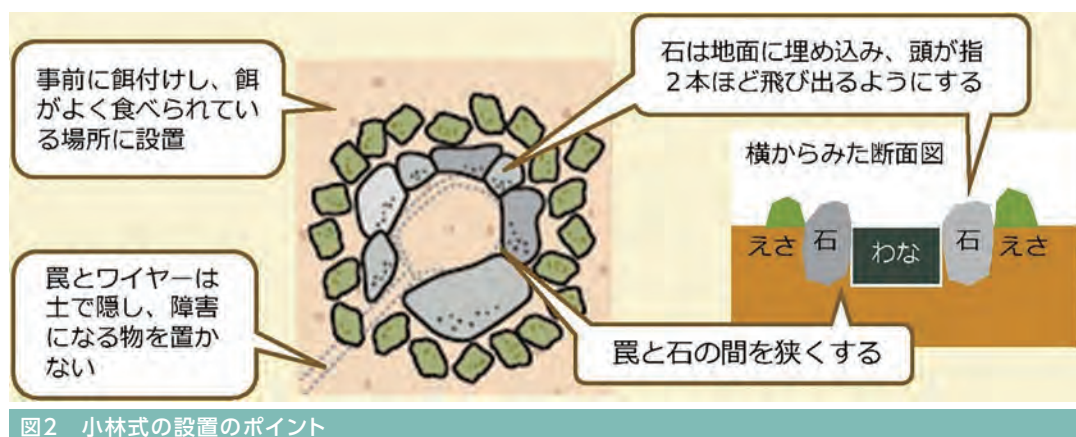


図2 小林式の設置のポイント

することが出来ます。

使用する石は、握りこぶし程度の大きさで、角張ったものが良く、罠と石の間に隙間が出来ないように密着させます（注：罠のバネの上には石を置いてはいけません）。また、石が動かないよう、上部が地面から指2本程度の高さが出るよう石を地面に埋め込むことがポイントです。最後に罠を薄く土で覆い、石の周囲にドーナツ状に餌を撒いたら完成です（写真4）。餌は、シカを選択的に捕獲するため牧草を固めたヘイキューブを使用します。

◆捕獲や見回りでの工夫

造林・生産事業や治山・林道工事等の現場への経路沿いに罠を設置することで、通勤時などに捕獲や見回りをすることが出来ます。これにより、見回り時間の短縮など効率的なシカ捕獲が可能となります。

◆やむを得ない

平成25年に環境省と農林水産省が策定した「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」では、令和5年度までに平成23年度に比べシカの個体数を半減させる目標を掲げています。近年、狩猟

や有害鳥獣駆除を担うハンターが減少し、高齢化が深刻な状況となっている中、この目標を達成するためには、関係者が連携して、より効率的な方法で捕獲することが重要です。小林式は、その有効な方法の一つと考えられ、当局では、一層の普及を図るため、今後も講習会などを積極的に実施し（写真5）、鳥獣被害の抑制に貢献できるよう努めてまいります。



写真5 普及のための講習会（群馬県）

小林式の実演動画や設置方法の詳細については、当局ウェブサイトをご覧ください。

